

町のうごき

本籍数	5,108
本籍人口	15,798
世帯数	4,180 (4,171)
住民登録人口	15,309 (15,249)
内 男	7,403
内 女	7,906

8月1日現在
()内は7月1日現在

広報 てんのう

No. 162

昭和51年

9月1日発行

発行・秋田県天王町役場 ☎(018878) 2211~4

編集・企画室 印刷・一日市印刷 ☎(018875) 2038



つ
結

▲第23回町民運動会（綱引き）

小畑知事 本町を訪問



れ、これらについても詳細な説明があった。質疑の主なものはお

町の熱心さを考慮

工業高校建設問題

問 県立工業高校の本町への建設について

地域住民のかかえている問題や県政に対する要望を直接聞きこれを県政に反映させることをねらいとして市町村訪問を実施してきた小畑知事は、去る八月十日本町を訪れた。

本町からは、各界、各団体等の代表者約百名が出席して町公民館で熱心に話しあった。

この日の話しあいでは、まず四十九年度の知事訪問の際に本町から要望された事項についてその後の経過や対策を高知地方課長より説明が、今回の知事訪問を引き続いて、今回の知事訪問に対して町当局や議会から出された四項目の要望事項に対し、知事から県の考えや方針について説明があった。

- ① 秋田湾地区開発に伴う工業用地の埋立の方法や産業道路について
- ② 埋立による漁業権、漁業補償、及び今後の漁業のあり方について
- ③ 品種改良や自主流通対策について

の方が地盤が強固だという結果が出ていますが、さらに調査を進めたいうえで工場の張り付けを考える。

問 流域下水道事業計画と見通しについて

答 下水道事業は市町村単独では困難であるという考えから雄物川、米代川、子吉川の三本の水系をたて、終末処理場と本管工事は県で実施することにした。この第一段階として雄物川水系より着手したわけであるが、来年度から本管の埋設工事に着手したい。

問 天王町と男鹿市との境界について

答 この問題については、天王町長と男鹿市長より県に白紙委任されている訳ですが、市長、町長のこの寛大な態度には敬意を表します。この問題はなかなかむづかしい。

年次計画で 公共下水道を

い訳ですが、秋田湾地区の開発計画との関連もありますので、両市、町と良く相談し、できるだけ早く解決したい。

美しい自然、豊かで潤いのある生活、調和あふれる環境——これが、私たちが永遠に希求する姿です。

つまり、生活環境の整備が必要で、この生活環境を整備するために大きな役割を果すのが下水道です。下水道は、生活環境保全のための重要な施設であるばかりでなく、河川等の水質公害を防止するための最も有効な施設として、その拡充整備が急がれています。

とくに、本町では、飲料水を地下水に依存している関係上、緊急を要する行政課題として検討を進めてきましたが、残念ながら現在のところ、この施設は未だ着工にいたっておりません。

このことは、一人天王町のみにではなく、全国的にも平均普及率が昭和五十年末現在で二二・八パーセントという低さです。

幸い秋田県では、流域下水道の整備計画を樹立し、現在、終末処理場の建設に着手していますが、これに接続する本管工事が、本町を通過するのは、昭和五十七年から五十九年度頃となっています。

管工事のみで、実際に下水道としての機能を果たすためには、これに接続する枝管の布設が必要です。この枝管工事は、町で行わなければなりません。

このため、町では、公共下水道の基本計画を作成しています。この計画によると、昭和五十年年度末の単価計算で、およそ百十億円の多額な建設費と十数年(国庫補助金が順調である場合)もの長い年月を必要とします。

したがって、年次計画を建て県で実施する本管工事が天王町を通過すると同時に一部地域の汚水が処理出来るよう、公共下水道工事の検討をすることにしています。



お盆実施が恒例となった、町主催の成人式が、八月十五日、町公民館で行われた。

臨時町議会が八月二日に開かれ、一般会計補正予算案を原案どおり可決して同日閉会した。

一般会計補正予算は、五十八万二千円が追加され、総額は十一億七千四百七十二万五千円となった。

この主なものは、本町において行われる、男鹿南秋支部消防操法大会の経費に五万円、秋田市立北中学校位育振興費補助金に十万円、天王中学校のサッカー、卓球、相撲、バドミントンが全県大会に出場するための派遣費補助金に二十三万三千円、さらにバドミントンが仙台で行われる全国大会に出場するための派遣費補助金として十八万九千円などである。

あすにむかってダッシュ

—規律ある成人に—

しばし雑然。式典に入ると、新成人としての自覚からか、多少緊張した面持ち。

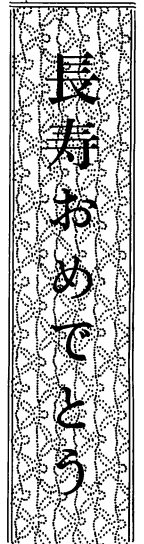
来賓の方々から、新成人としての自覚と、明日をこなす若人としての期待とお祝いのことばをいただき、つづいて、天王中学校長の仙北屋清一先生より、「明治、大正、昭和の世代」という講演に、誰もが熱心に聞き入っていた。

また、講演が終了した後に、男、女分かれての記念撮影。写真撮影が終わると、男、女同級生がまとまって、同級会のことなどを楽しく相談。足早やに、それぞれのグループにわかれて帰路を急いでいた。輝かしい、明日に向かって。



知事の説明を熱心に聞いている各代表者

いつまでもお元気で！



長寿おめでとう

十六日に敬老会

町、主催の敬老会が九月十六日に行われます。

恒例の敬老会も、二十五回目を数え、今年の対象者は、五百十六名で、年々、長寿の方々が増えています。老いてますます、元気なところをみせ、例年の敬老会でも、アトラクションの民謡や、踊りに合わせて、手拍子と笑いで楽しい一日を過ごしています。また九月四日も天王町連合老人クラブの主催でスポーツ大会が計画されており、若者に負けてはならぬ、とばかりハッスル。当日は、バスで送迎し、アトラクションも民謡や踊りなど、一緒に歌い、踊り、楽しい一日を過ごされるよう日程が組まれております。

なお、該当者中、名簿モレの方がおりましたら怒れ入りますが、役場民生係までごらんく下さいますようお願いいたします。

●印はハトづえが贈られる方々です。

- (塩口) 米谷チイ 91 木元カ
- 81 桜庭リエ 80 桜庭ムラ 79
- 桜庭キノ 79 ●桜庭キヲ 79
- 桜庭カネノ 79 桜庭ミエ 75
- 桜庭サダ 74 丸谷タケノ 73
- 桜庭梅之助 73 桜庭喜六 73 桜庭キナ 72 桜庭チヨエ 72 桜庭マツノ 72 桜庭キナ 71 桜庭与三郎 71
- (中羽立) 菅生チヨノ 83 菅生喜代吉 81 目黒多助 81 菅生マツノ 80 菅生トクエ 78 菅生ヨミ 76 菅生鉄之助 75 菅生作治 72 菅生マツエ 70
- (羽立) 鈴木サタ 87 安田利七 84 安田キノ 82 安田キノノ 81 江島チヨ 81 根スエ 81 安田トヨ 81 鈴木タカ 81 安田イネ 80 工藤ミネ 80 鈴木ノフ 80 鈴木与七 80 菅生常五郎 80 安田仁七 80 ●荒玉トメノ 79 安田亦六 78 菅生喜代蔵 76 安田安蔵 76 西村才吉 76 菅生周助 76 安田ツエ 75 安田養七 75

- 石黒キノ 80 鎌田サノ 80 京谷仁左エ門 80 沼田キセ 79 沼田ツエ 79 ●京谷シノ 79 ●武石ノブ 79 ●児玉カツ 79 ●桜庭千代吉 79 ●伊藤茂助 79 ●山片弘道 79 ●柏崎新七 79 ●柏崎チタ 78 石黒フクエ 78 鎌田ミ子 78 児玉ギエ 78 西村菊治 78 三浦金松 78 石黒セキ 77 村山卯之吉 77 藤原三之助 77 沼田トヨ 76 菊地キン 76 杉本喜之助 76 児玉信一郎 76 石川軍治 76 内田銀治 76 神馬幸助 76 京谷ソヨ 75 鎌田スナ 75 小川ミヨ 75 沢木カツ 75 相沢ミサヲ 75 安東勇吉 75 児玉政五郎 75 石黒幸蔵 75 鎌田ツナ 74 児玉リサヲ 74 三浦ナツ 74 京谷ツナ 74 真柄ハル 74 児玉タメノ 74 石黒サタ 74 内田丹藏 74 柏崎寅蔵 74 武田秀二 74 小林義雄 74 大淵トヨ 73 佐々木キヨ 73 菅生スワ 73 米谷キナ 73 渡部タノ 73 伊藤ツエ 73 米谷徳治 73 長野佐吉 73 菊地寅吉 73 石川銀一郎 73 岩谷文治郎 73 石黒キノ 72 越後ハキノ 72 西村カ子 72 菊地スエ 72 安東ミ子 72 淡路ヘルノ 72 菊地スエ 72 菊地ナツヨ 72 戸田運吉 72 石黒俊蔵 72 菅原勝太郎 72 京谷キエ 71 柏崎ツサ 71 石黒キツエ 71 米谷ツマ 71 進藤チヨ 71 石川金治郎 71 広瀬五一 71 石川民之助 71 高橋富之助 71 深川吉治郎 71 内田三治郎 71 沢井順太郎 71 戸田ハナ 70 加藤サメ 70 村山アチコ 70 石黒イワヲ 70 喜久治 70 金子勘治郎 70 西村鐘三 70 岡久一郎 70
- (江川) 伊藤スメ 89 伊藤カネ 86 伊藤ツヨ 86 伊藤ツルエ 85 藤原セツ 83 伊藤タケ 81 工藤千代治 81 児玉弥市 80 藤原秀五郎 80 藤原忠治 80 藤原ツナ 79 ●佐藤ハツ 78 伊藤イワヲ 77 石井カネ子 76 伊藤ツエ 76 児玉タミエ 76 伊藤カ
- シエ 74 藤原チエ 74 安宅政五郎 74 伊藤勇太 74 藤原倉吉 74 児玉豊吉 74 伊藤ミヨ 73 藤原シノブ 73 伊藤テツ 73 藤原ミヤノ 73 藤原竹治 73 藤原チヨ 72 菊地ナツヨ 72 石黒与三郎 72 藤原直治 72 児玉キエ 71 伊藤寿郎 71 三浦キク 70 佐藤富治 70 藤原和七 70
- (児玉) 松村シナ 84 菊地駒吉 78 薄田ノエ 77 児玉カネ 76 橋本健治郎 74 菊地セツ 73 武田倉吉 73 橋本スワ 72 渡部カネ 71 児玉ハル 70 佐藤金蔵
- 70 (大崎) 吉田ハル 87 三浦寅之助 86 石井茂助 84 吉田リン 83 三浦キヨノ 83 和ハナ 83 三浦清之助 83 三浦シギ 80 吉田スゲ 80 三浦喜一郎 80 三浦福太郎 80 三浦カネ 79 ●吉田兼吉 79 ●三浦チヨ 78 三浦トキ 78 三浦ミナ 78 三浦テツ 77 島山タキノ 77 吉田ヨリ 76 三浦運吉 76 吉田ノ 75 三浦カネ 75 菅原寅吉 74 吉田チ子 74 三浦セチ 73 菅原キサ 73 三浦清之助 73 三浦雄助 73 吉田吉治郎 73 三浦クエ 72 三浦キノ 72 三浦治助 72 三浦テツ 71 菊地イシ 71 三浦カ子 71 三浦ハナヨ 71 三浦三蔵 71 三浦清治郎 71 三浦市蔵 71 三浦カネノ 70 三浦治之助 70
- (二田) 山下タケ 91 伊藤ナカ 89 三浦清之助 87 武田キサ 86 福田富治 85 小野ツヨ 84 小野スミ 83 沢畑オオメ 81 山内富五郎 81 二田是儀 81 三浦隆次 81 藤原文治 81 武藤ヨシ 81 熊谷スキ 80 保坂セツ 80 福田みさ 80 石井富蔵 80 佐藤ヨリ 79 ●伊藤寛蔵 79 ●保坂ヨリ 79 ●加藤孫助 79 ●真壁善助 79 ●伊藤シキ 78 佐藤スナ 78 高橋マキエ 78 村井千代吉 78 加藤光 77 吉田エチ 77 信田ヤス 77 武田ヨリ 77 三浦大関ナツ 77 真壁キエ 77 三浦
- 嘉太郎 77 西尾ヨネ 76 米沢谷フクエ 76 目黒ヨシ 76 鎌田タケ 76 伊藤サノ 76 伊藤イソ 76 二田貞子 76 渡部金三 76 内田耕学 76 吉田兵治 76 沢畑ノト 75 小玉キヨ 75 島山タケノ 75 中村タケノ 75 三浦タケノ 75 三浦リカ 75 佐々木テツ 75 大関竹松 75 千田大円 75 大関銀治郎 75 高橋貞治 75 越前健吉 75 渡部良蔵 75 奈良利三郎 75 佐藤久吉 75 鈴木ミエ 74 伊藤ミヤ 74 桜庭宇吉郎 74 安田甚吉 74 三浦利七 74 真壁熊太郎 74 渋谷倉蔵 74 藤原ツナ 73 船木リツ 73 中泉ハル 73 千田ハル 73 越前トヨ 73 薄田キヲ 73 三浦サメ 73 薄田富藏 73 後藤勲治郎 73 鈴木ヨリ 72 児玉ナミ 72 佐藤菊栄 72 上村カネ 72 大関ツナ 72 佐藤クラ 72 古戸スノ 72 小熊佐市 72 佐々木忠一 72 佐々木養之吉 72 大越萬治郎 72 大関与喜藏 72 伊藤健之助 72 高味芳一 72 工藤セツ 71 安田サダ 71 渡辺チエ 71 内田チ多 71 斎藤タマノ 71 石井チヨエ 71 沼田ハキノ 71 加藤トメ 71 小野克太郎 71 加藤文治 71 佐々木木治郎 71 佐々木重吉 71 佐藤俊郎 71 早野基三郎 71 佐藤金蔵 71 鈴木スミ 70 鎌田リエ 70 佐々木キン 70 高橋キノノ 70 中村ハナ 70 門間シノ 70 沢井金之助 70 千釜長吉 70 上村千代松 70 武田玉吉 70
- (鶴沼台) 木元長吉 70 寺沢タケ 70
- (蒲沼) 目黒キノノ 71
- (下戸) 加賀谷堅蔵 85 佐々木オヨ 84 加賀谷兼松 84 菊地ミナ 83 佐々木善蔵 83 加賀谷キヨ 82 飯嶋竹松 82 佐々木ハル 80 加賀谷トメ 80 佐々木興市 80 佐々木五郎吉 80 佐々木兼治郎 79 佐々木ノブ 78 佐々木ムメ 78 加賀谷スケ 76 佐々木カネ 75 加賀谷市太
- 郎 75 佐々木兼太郎 74 佐々木鉄蔵 74 佐々木キクエ 73 加賀谷東太郎 73 佐々木定八 73 海野達郎 72 佐々木武治 72 佐々木吉之助 72 加賀谷市蔵 72 佐々木カヨ 71 佐々木ミエ 71 佐々木トキヨ 70 佐々木ヤエ 70 佐々木貞正 70 鈴木サタ 70
- (出戸新町) 佐藤春吉 82 小林ヨシ 80 門間サヲ 75 佐藤金五郎 75 島山福治 75 川村トキエ 74 島山ハル 71 中山ミナ 71 沢口多加野 70
- (細谷) 佐藤サト 78 菅原ハギノ 73 菅原徳五郎 72 戸嶋弥七 70
- (上戸) 渡部ハナ 91 菊地トヨ 83 菊地カネ 83 菊地ナミ 82 菊地貞治 80 菊地東助 78 菊地敬蔵 75 菊地リサ 73 菊地ハルノ 73 菊地シン 73 青山ノブ 72 菊地ミノ 71 菊地福三郎 71 菊地ミヨ 70 菊地シモ 70 菊地勘蔵 70 菊地徳之助 70 菊部米吉 72
- (追分) 中泉キヨ 80 藤原康 80 武田儀一 80 伊藤ハナ 79 奈良ギン 79 ●渡部キヲ 79 進藤キヨ 78 竹下サツ 77 井川スエ 77 斎藤サン 77 中田アキ 76 佐々木タネ 76 小坂リサ 76 海山徳之助 76 鎌田要吉 76 橋本タメ 75 武田ミワ 75 小野金治 75 永井トヲ 73 大張ヤス 73 海山依子 73 一関広二 73 渋谷ヨシ 71 保坂リノ 71 大坂富藏 71 成田幸吉 71 成田寅蔵 71 佐藤金五郎 71 佐々木銀四郎 71 門間耕作 70 成田金治 70 北島佐太郎 70 帯谷善治 70 (追分西) 鶴谷チカ 82 鈴木忠治郎 76 内田ヨシ 75 渡辺ナヲ 73 銭谷寅吉 74 鷺谷哲男 73 石井三郎 73 真井田リウ 72 鈴木タカ 71 吉田三郎 71 安部和歌 70 高桑新之助 70
- (北野) 松橋悦次郎 81 内藤イワ 77 柳館クニ 77 菅生源蔵 77 高桑ナツ 75 松橋キノ 75 藤原ツネ 73 黒沼トキヲ 72 藤原之助 72 中島敬之助 71 田島平七 71 三浦カツミ 70 大久保喜代治 70

スポーツの祭典

だれよりも速く
だれよりも強く
そしてみんな楽しく

第23回町民運動会

去る、八月二十二日、第二十三回町民運動会が天王中学校グラウンドにおいて盛大に開催された。

悪天候にもかかわらず各部落より大勢の人たちが集い、応援合戦もにぎやかに行われた。今大会に新しく取り入れた、つき輪競争では、男女各自のまじめ?な態度に場内は爆笑。

午後より、雨に見舞われるというアクシデントもあったが、プログラムに一部の変更だけで競技種目を終えた。

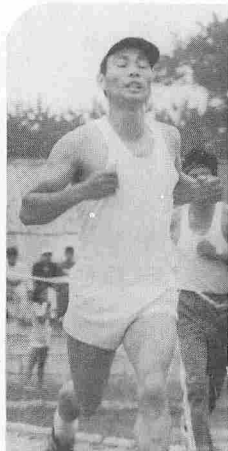
雨で心配された、仮装盆踊りも盛大に行われ、花やかなにぎわいの仮装に、花やかなにぎわいを見せ、無事全日程を終えた。

▽総合の成績は次のとおり、

- ①天 王
- ②大 崎
- ③中 羽立
- ④江 谷
- ⑤川 玉
- ⑥塩 口
- ▽採点種目
- ①玉入れ競争
- ②児 王
- ③塩 口
- ◎百足競争
- ①大 崎
- ②塩 口
- ③天 王
- ◎ボール送り競争
- ①塩 口北野
- ②大 崎
- ③塩 口
- ◎地域対抗リレー
- ◎生徒(女子、一部)
- ①塩 口
- ②江 谷
- ③大 崎
- ◎生徒(女子、二部)
- ①児 玉
- ②洪 谷
- ③中 羽立
- ◎生徒(男子、一部)
- ①天 王
- ②塩 口
- ③大 崎
- ◎生徒(男子、二部)
- ①児 玉
- ②羽立北野
- ③洪 谷
- ◎一般(女子、一部)
- ①天 王
- ②江 谷
- ③大 崎
- ◎一般(女子、二部)
- ①羽立北野
- ②塩 口北野
- ③中 羽立
- ◎一般(男子、一部)
- ①天 王
- ②大 崎
- ③江 川
- ◎一般(男子、二部)
- ①児 玉
- ②洪 谷
- ③中 羽立



▲一升ピンなんて楽よ!
んだともおぼでー
(女ポパイ)



▲1,500mの覇者
まだまだ走れる余裕

▼早くー つぶされるー
(ボール送り競争)



▲全員で町民体操



▲何してはいらねが(玉入れ競争)



▲前回優勝チーム
天王の柏崎選手の
力強い宣誓!



▶押すナ押すナイグドイチツ
(百足競争)

▼キササーキササー「しなぶりが勝負ヨ」(仮装盆踊り)



おらが町の横綱は？

—第三回天王町相撲大会—

去る、八月十五日恒例の相撲大会が天王中学校相撲場において行われた。

当日は、町内の相撲愛好者の人たちが土俵周辺はいっぱい。団体選手の方々による模範試合に観客の視線は土俵にクギづけ。競技種目は、午前中、各中学校による団体リーグ戦、団体選手による模範試合。

羽城中学校の菅原義則君が優勝した。

当日の成績

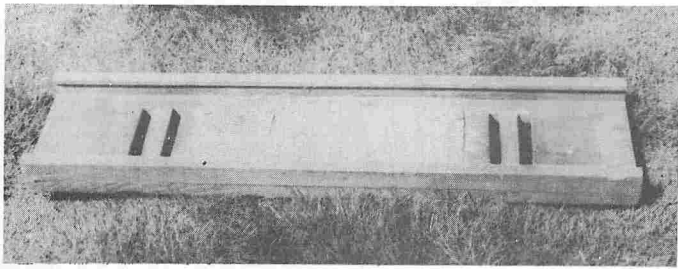
▽部落対抗
優勝 羽立チーム(五勝)
準優勝 江川チーム(四勝)
第三位 大崎Aチーム(三勝)

▽個人
優勝 佐藤 肇 (二田)
準優勝 京谷安春 (天王)
第三位 三浦俊也 (大崎)

▽中学校団体
優勝 仙南中学校(三勝)
準優勝 井川中学校(二勝)
第三位 羽城中学校(二勝)
第四位 天王中学校(〇勝)

▽中学校個人
優勝 菅原義則(羽城中)
準優勝 坂本 致(仙南中)
第三位 上野泰文(仙南中)

郷土史コーナー



カタクリとり

今では、農家でさえ片栗粉の消費者となつてしまつたが、二十年程前までは、ゴドエモ(ジャガイモ)から自家で作つていたものである。ゴドエモが穫れると皮むきで面倒な小粒のものを選び、でんぷんをとり、片栗粉として用いた。

ゴドエモの収穫が終わると町内の井戸端はカタクリとりで賑わつた。村の発明家の手になる薯すり機が回つてきて、よく洗われたゴドエモをするのである。

すりされたものは、最初は粗い目の、最後は細かい目のざるで何回か皮とでんぷんとに分けられる。さらに、それを桶に入れて何日も水を取り換えると、しだいに白さを増してくる。純白になると紙に上げて、乾燥させてきあがりとなる。こうして作った片栗粉は餅とりに用として、また、くず湯の材料として重宝がられた。ホームポンプが現われ、町内から井戸が消えると、足踏みから発動機にかわつた薯すり機械も回つてこなくなつた(石川記)

お年寄りと税金



税金

九月十五日は敬老の日です。国では、社会保障制度の充実の一環として老人福祉問題を重視し、いろいろな施策を行っています。

税金の面においても、お年寄りは社会的、経済的に弱い立場にある場合が多いという点を配慮して、次のような優遇措置がとられています。

▽年齢が六十五歳以上で、所得金額一千万円以下の人は、老年者控除として二十万円が所得から控除されます。

▽国民年金など公的年金や恩給を受けている六十五歳以上の人は、その収入金額から七十八万

円の老年者年金特別控除が受けられます。従つて収入が公的年金や恩給だけの場合は、給与所得控除や基礎控除が受けられずから、百七十四万円以下であれば所得税はかかりません。また、百四十八万円以下であれば息子さんなどの扶養親族にもなれます。

もらった財産

にも、税金が

一月から十二月までの一年間に、親や子、夫や妻などの親族はもちろん、他人から合わせて六十万円を超える財産をもらった人には贈与税がかかります。

▽贈与税のかかる財産はお金のほか、土地、建物、預貯金、株式などお金に見積ることのできるすべてのものです。

▽親の土地や建物を子供の名義

第一回

天王町老人スポーツ大会

四日、開催

豊かな老後と各位の親睦を深めるためのスポーツ大会を九月四日、午前十時より天王中学校グラウンドで開催することになりました。

などがプログラムに組まれ、多数の老人の方々の参加を望んでいます。

訂正
広報、先月号において、県民手帳の予約受付の際に、一冊二十四円とありましたが、一冊二百四十円の誤りですので、訂正いたします。

短歌

天王町短歌会七月会より

追分 吉田 三郎
いくさ負けハ、プロフスクで逝きし同胞の四百四十名の墓碑に詣でる

追分 鈴木 秀夫
ひさびさの雨に色づくあじさいをたばねて供う母の命日

追分 村井 広子
日まわりと背くらべつつ仰ぎみて吾子まぶしげに目を細めたり

追分 真壁 キサ
宴長く美酒も苦杯に変わらんと下戸の夫の掃宅気遣う

俳句

天王町俳句会八月会より

天王 米谷 冬華
くも舞の湖影らすや末の頭巾

天王 児玉 伯秋
木蔭道通れば問わる称宣の家

追分 安田 鹿山
夏の雨腕組み太し農夫象

善意ありがとう

このたび、天王町天王宇上江川47の大関良太郎氏より、父良三死亡の際の香典返しとして、金三万五千円を町社会福祉協議会に寄せられた。また、天王町天王宇追分37の2の三浦俊男氏より、妻松代死亡の際の香典返しとして、同協議会に金、五万円を寄せられた。

石井 涓水
梅千して簀も紫蘇色に染りけり

